

製品名: ACO2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06509**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット、その他
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	ACO2
別名	Aconitate hydratase, mitochondrial (Aconitase) (EC 4.2.1.3) (Citrate hydro-lyase)
遺伝子 ID	50.0
SwissProt ID	Q99798
免疫原	ヒト ACO2 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 421-470

背景

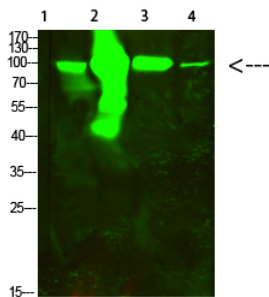
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アコニターゼ/IPM イソメラーゼファミリーに属します。TCA 回路の第二段階において、クエン酸からシス-アコニターゼを経てイソクエン酸への相互変換を触媒する酵素です。このタンパク質は核にコードされてお

り、ミトコンドリアで機能します。このタンパク質は、酸化修飾を受けた後、セリンプロテアーゼ 15 (PRSS15) (別名 Lon プロテアーゼ) によって優先的に分解されるミトコンドリアマトリックスタンパク質の 1 つであることが判明しました。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: クエン酸 = イソクエン酸。 ,補因子: サブユニットあたり 1 つの 4Fe-4S クラスターを結合します。 3Fe-4S クラスターが結合すると、酵素は不活性になります。 ,オンライン情報: アコニターゼエントリー ,経路: 炭水化物代謝;トリカルボン酸回路。 ,類似性:アコニターゼ/IPM イソメラーゼファミリーに属する。 ,サブユニット:モノマー。 ,

研究分野

クエン酸回路 (TCA 回路) ;グリオキシル酸およびジカルボン酸代謝;

画像データ



1,マウス腎臓、2,マウス心臓、3,3T3、4,Hela 細胞を ACO2 ウサギポリクローナル抗体 (1:500 希釈、4°C、一晚) でウェスタンブロット解析した。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)